

一般社団法人 日本死の臨床研究会九州支部 第11回「介護職のための看取りワークショップ」 開催のご案内

日本死の臨床研究会九州支部
啓発教育委員会 委員長 中尾勘一郎
運営事務局 小杉寿文

日本死の臨床研究会九州支部では、任意団体であった2023年2月当時に開催予定ながら新型コロナ・インフルエンザのW流行の状況を踏まえて無期限延期としておりました第11回「介護職のための看取りワークショップ」を、集合対面形式で開催いたします。このワークショップは、主に介護現場に従事しておられる皆様を対象として、講義とグループワークを組み合わせたプログラムとなっております。

参加申込希望の方は、文末の「参加申込方法」をご参照のうえ、オンラインにて個別に申し込み手続きを行ってください。ぜひこの機会にご参加下さい。お待ちしております。

第11回「介護職のための看取りワークショップ」

日時：2024年1月20日（土） 9:30～12:30（参加者入場開始は9:15からの予定です）

会場：佐賀市 アバンセ 4F第3研修室

〒840-0815 佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011

参加費：一般1,000円／学生500円 定員：30名

参加対象：介護職員など（応募者多数の場合は看取り経験のない施設を優先）

【プログラム（予定）】

09:15～09:30（15分） 参加者入場受付

09:30～09:40（10分） 開会・主催者挨拶

09:40～10:35（55分） 講義1「施設でのみとりを考える」

講師：中尾勘一郎先生（ホーム・ホスピス中尾クリニック 院長）

10:35～11:10（35分） 講義2（動画）

『コロナ禍においてこそ「意思決定支援」の在り方を考える

—ACP(人生会議)と「無言の圧力」問題—』

板井孝孝先生（宮崎大学医学部社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授

宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門臨床倫理部 部長）

11:10～12:30（80分） グループワーク

『それぞれの施設における看取りの現状・課題・対策』

※参加者それぞれの介護施設においてコロナ禍の前後で変わったこと、
変わっていないことなどを、講義1、2の内容を絡めつつ小グループで
討論し、各グループ発表、総合討論をいたします。

12:30

閉会

参加申込方法：オンライン（Webフォーム）にて受付いたします。

電話・FAX・メールでの受付は行いませんので、下記URLまたは
左記のQRコードにアクセスしてお申し込み下さい。

後日、e-mailにて参加にあたっての留意事項等をご連絡いたします。

（締切：2024年1月10日（水））

<https://forms.gle/BnYZQRERXvu8KVf98>



【参加申し込み・問い合わせ受付】一般社団法人 日本死の臨床研究会 九州支部事務局

〒811-2232 福岡県粕屋郡志免町別府西3丁目8-15

社会医療法人栄光会 栄光病院内

TEL&FAX 092-931-2124(事務局専用) e-mail:kyu_sibu@nifty.com